

1日で学べる!

明日からのケアプランが変わる!



「床ずれ予防プログラム」解説セミナー

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会（在宅協）では、ケアマネジャー（介護支援専門員）が使うことを前提とした、8項目をチェックすることで褥瘡発生リスクを簡単に予測できる「床ずれ危険度チェック表®」を作りました。各項目と褥瘡発生との関係、またチェックのついた項目に対してどのように対応すればよいか理解することで、「床ずれ危険度チェック表®」を積極的に活用できます。そのため、各項目を専門家がわかりやすく解説した「床ずれ予防プログラム」という冊子を発行し、さらに各執筆者が解説するeラーニング動画を制作しました。

皆様をお願いしたいのは、この動画を聴講すると褥瘡予防知識が向上するかという研究への協力です。「床ずれ予防プログラム」を学ぶと褥瘡予防の具体的な対応法がわかり、ケアプランに褥瘡予防に関することを組み込むことで、在宅での褥瘡予防が可能になると考えています。

本セミナー（研究）に参加していただき、褥瘡予防の知識を得る機会になれば幸いです。

開催概要

日時	2025年1月19日（日）13:00～16:00 2025年2月22日（日）13:00～16:00	開催方法	WEB（Zoom）
参加資格	ケアマネジャー（介護支援専門員）	定員	300名
主催	日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会（在宅協）	参加費	無料

プログラム

※演者所属 動画撮影時

1. 「在宅最前線のケアマネさんに床ずれ予防プログラムを！」 岡田克之（桐生厚生総合病院） 10分
2. 床ずれ予防プログラム 解説動画 130分（途中休憩あり）
 - ① 概論：「床ずれ危険度チェック表」の活用-床ずれのリスクをアセスメントするー 助川 未枝保（八千代市八千代台地域包括支援センター）
 - ② 床ずれのリスク要因の理解と対策
 - ・「自分で寝返りがうてない」 塚田 邦夫（高岡駅南クリニック）
 - ・「痩せて、骨張っている」 真井 睦子（栗山赤十字病院）
 - ・「足や腕の関節を伸ばすことができない」 木下 幹雄（TOWN訪問診療所）
 - ・「食事量（回数）が減った」 戸原 玄（東京医科歯科大学）
 - ・「体が汗で湿っていることがある」 大内 淑子（栗原訪問看護ステーション）
 - ・「おむつを常時使用している」 熊谷 英子（在宅WOCセンター）
 - ・「足が浮腫んでいる」 岡田 克之（桐生厚生総合病院）
 - ・「ギャッチアップ機能を利用して体を起こしている」 播磨 孝司（さっぽろ在宅医療クリニック）
3. アンケート②回答（回答終了次第、セミナー退出可） 20分

申込方法

お申込みは、二次元コードまたは、URLからお願いします。

<https://forms.gle/ucDxcrzryB85A7Dh7>



1/19 開催セミナー
申込期限

1/9日（木）

2/22 開催セミナー
申込期限

2/10日（月）

※セミナー内容は同じです。どちらかの日程をお選びください。

- ① 申し込まれた方に、研究参加フォームをお送りします。
 - ② 研究同意いただいた方にセミナーURLとアンケート①URLをお送りします。（セミナー開催日1週間前を予定しております）
 - ③ セミナーまでにアンケート①の回答をお願いします。
- ※ お申し込まれた方の個人情報は、厳正に管理し、無断で第三者に開示することは致しません。

参加特典

セミナーに参加（アンケート②まで回答）いただいた方に書籍「ケアプランが変わる！在宅介護が変わる！床ずれ予防プログラム-床ずれ危険度チェック表®を活かす-」を贈呈いたします。
※ セミナー終了後に、送付先確認メールをお送りします。

事務局

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会
床ずれ予防プログラム委員会 研究運営事務局
tokozurepreventionprogram@gmail.com